

あなたが知っているCD盤から、まだ知らない音を引き出せるCDプレーヤー



コンプリートパッケージ

希望小売価格 ¥110,000(税別)



HD-CD1 Special は、KDK-OFC を同梱した「コンプリートパッケージ」のみの販売となります。

ハイレゾに負けない音質を目指しました

10万円以内でご購入いただける、AIRBOW CDプレーヤーは3モデルあります。特徴は「躍動感」。思わず体が動き出すような楽しく明るい音質が自慢です。10万円を切るCD6006 Liveには「USB入力」が備わり、CDしか聞けないHD-CD1 Specialは、そのままでは「ただの小型のCDプレーヤー」になってしまいます。

それでは面白くないのでHD-CD1 Specialは、現在の先端高音質「ハイレゾ」や「DSD」に迫り、あるいはそれを超える「高音質」を実現するCDプレーヤーを目指し、異例の長時間に及ぶ開発を実施しました。その甲斐あって、AIRBOW CD専用機にふさわしい圧倒的な高音質に仕上がると共に、新しいカスタム技術も見いだせたのです。

高級オーディオ機器らしい、細やかさと透明感の高い音質

Marantzのオーディオ製品は一台一台が専用設計ではなく、共通する「モジュール」が採用されています。動作と音質が確立した「モジュール」をコストに応じ適宜組み合わせることで、様々な製品を素早く市場に出せるのですが、Marantz製品に使われている各モジュールの高音質化技術（カスタム技術）は共通しているので、高級機と同じ交換パーツを選べば、低価格機の音質を高級機に近づけることも不可能ではありません。

HD-CD1にはハイレゾやDSDの再生に対応する、高性能DACチップ「CS4398」が搭載されています。Marantzが誇る「HDAM-SA2」も採用され、これらの回路の能力を最大に引き出せれば、CDディスクからハイレゾ・DSDに近い高音質の実現が可能です。

様々なテストの結果、このモデルでは低コスト化で損なわれていた「クロック発振品質の改善が鍵になること」がわかりました。クロックの改良によりHD-CD1 Specialの高域の伸びやかさと解像度は一気に向上し、20-30万円を超える高級機に負けない「細やかさ」・「艶やかさ」・「透明感の高さ」が実現しましたが、さらにその高域に負けない中低域のエネルギー感を得るため、電源レギュレーター回路を徹底的に改良、サイズや重量からは信じられないほどの低域の力感、音場の広がり感の獲得にも成功したのです。

HD-CD1 Specialでは、低価格のCDプレーヤーで問題にされる「高域の頭打ち感」や「刺々しさ」は皆無です。ハイレゾ・DSDのようにきめ細かく伸びやかな音質と、「パソコンでは味わえない」透明感の高さと、圧倒的なハーモニーの美しさが実現します。HD-CD1 Specialで「高音質ディスク」をお聞きになれば、CDには、「まだこれだけの情報が入っていたのか！」ときっと驚かれるに違いありません。

主な仕様

- 再生可能ディスク: 一般音楽 CD CD-R/RW
- アナログ出力: RCA × 1
- デジタル出力: 光(TOS)/RCA × 各 1
- デジタル入力: なし
- 電源: 100V / AC50-60Hz・消費電力: 14W(待機時 0.3W)
- 外形寸法: W304mm × H109mm × D312mm(突起含む)
- 質量: 5.7Kg